



## clear コマンド

---

- [clear avc nbar](#) (1 ページ)
- [clear counters](#) (2 ページ)
- [clear cts](#) (2 ページ)
- [clear datapath](#) (3 ページ)
- [clear dot11](#) (4 ページ)
- [clear logging](#) (4 ページ)

### clear avc nbar

AVC NBAR 統計情報をクリアするには、**clear avc nbar** コマンドを使用します。

#### clear avc nbar statistics

---

#### 構文の説明

---

**statistics** AVC NBAR 統計情報をクリアする

---

---

#### コマンドモード

---

Privileged EXEC (#)

---

---

#### コマンド履歴

---

リリー 変更内容  
ス

---

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

---

#### 例

次に、AVC NBAR 統計情報をクリアする例を示します。

```
cisco-ap# clear avc nbar statistics
```

## clear counters

802.11 無線の統計情報をクリアするには、**clear counters** コマンドを使用します。

**clear counters** **Dot11Radio** *interface-number* | **client** | **fast-path** **profinet** | **wired** *interface-number* **MIB-stats**

### 構文の説明

<b>Dot11Radio</b>	(任意) Dot11 インターフェイスの統計情報をクリアする。
<i>interface-number</i>	Dot11Radio インターフェイスの番号。有効な値は0または1。
<b>client</b>	クライアントの統計情報をクリアする。
<b>fast-path</b>	コントローラの高速パスの統計情報をクリアする。
<b>profinet</b>	Profinet の統計情報をクリアする。
<b>wired</b>	有線インターフェイスの統計情報をクリアする。
<i>interface-number</i>	有線インターフェイスの番号。有効な値は0～3。
<b>MIB-stats</b>	AP 内部スイッチ MIB カウンタをクリアする。

### コマンドモード

Privileged EXEC (#)

### コマンド履歴

リリー 変更内容  
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

8.7 **client, fast-path, profinet, wired** パラメータを追加することで、このコマンドが拡張されました。

### 例

次に、指定したインターフェイス番号の 802.11 インターフェイスの統計情報をクリアする例を示します。

```
cisco-ap# clear counters Dot11Radio 1
```

## clear cts

Cisco TrustSec Security の統計情報をクリアするには、**clear cts** コマンドを使用します。

**clear cts** **role-based counters** [**all** | **client** *mac-addr* | **from** *sgt* **to** *dgt*]

構文の説明	<b>counters</b>	Cisco TrustSec の要約カウンタをクリアする
	<b>all</b>	すべての Cisco TrustSec カウンタをクリアする
	<b>client mac-addr</b>	xx:xx:xx:xx:xx:xx フォーマットで指定されたクライアントの MAC アドレスに関する Cisco TrustSec カウンタをクリアする
	<b>from</b>	フィルタリングされるトラフィックの送信元グループ タグを指定する
	<b>sgt</b>	セキュリティ グループ タグ (SGT) 。有効な値は 0 ~ 65535
	<b>to</b>	フィルタリングされるトラフィックの宛先グループ タグを指定する
	<b>dgt</b>	宛先グループ タグ (DGT) 。有効な値は 0 ~ 65535

コマンドモード Privileged EXEC (#)

コマンド履歴 リリー 変更内容  
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、Cisco TrustSec Security カウンタのすべての統計情報をクリアする例を示します。

```
cisco-ap# clear cts role-based counters all
```

## clear datapath

データパスカウンタまたはドロップをクリアするには、**clear datapath** コマンドを使用します。

**clear datapath {drops | statistics}**

構文の説明	<b>drops</b>	データパス ドロップ カウンタをクリアする
	<b>statistics</b>	データパス カウンタをクリアする

コマンドモード Privileged EXEC (#)

コマンド履歴 リリー 変更内容  
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、データパス ドロップ カウンタをクリアする例を示します。

```
cisco-ap# clear datapath drops
```

## clear dot11

802.11 の設定をクリアするには、**clear dot11** コマンドを使用します。

### clear dot11 sensor

構文の説明	<b>sensor</b> センサーの設定をクリアして再起動する
コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリー 変更内容 ス 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、802.11 の設定をクリアする例を示します。

```
cisco-ap# clear dot11 sensor
```

## clear logging

ロギングの詳細をクリアするには、**clear logging** コマンドを使用します。

### clear logging [capwap | message | warning]

構文の説明	<b>capwap</b> (任意) CAPWAP ロギングの詳細をクリアする <b>message</b> (任意) メッセージロギングの詳細をクリアする <b>warning</b> (任意) 警告ロギングの詳細をクリアする
コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリー 変更内容 ス 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

次に、CAPWAP ロギングの詳細をクリアする例を示します。

```
cisco-ap# clear logging capwap
```

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。